

科目名	校外実習 Job Training			担当教員	学科長，5年担任		
学年	5年	学期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	実習	科目番号	16131051	単位区分	履修単位
学習目標	1. 企業で製造，設計，技術開発，試験研究，品質管理などの実務を体験する。 2. 実務体験を通じて，将来，技術者および社会人として自立していく意識をもつ。 3. 実務体験を通じて，学校での勉学の意義を認識し，以後の学習意欲の向上に役立てる。 4. 将来の進路選択に役立てる。						
進め方	4 学年時の夏季休暇を利用して，企業で 30 時間以上の期間実習する。内容は，受け入れ先企業の実習教育担当者の計画や指導に従う。実習終了後，速やかに校外実習報告書と実習証明書を提出する。校外実習報告会で実習内容を発表，報告する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 受入企業の調査と実習先の決定（-） (1) 受入企業について実習内容等を自主的に調査し，実習先を選択・決定する。 (2) 決定した受入企業について事業内容等を調査し，報告書を提出する。			・ 決定した実習先企業の概要，事業内容等を報告書にまとめ，提出することができる。 学習・教育目標との関連 (C-1)			
	2. 必要書類の作成と提出（-） (1) 校外実習願い，承諾書，校外実習申込書，誓約書，傷害保険契約申込書，その他企業指定の書類を不備なく作成する。 (2) 上記書類を指定された期日までに提出する。			・ 必要書類を不備なく作成し，指定された期日までに提出すること。（注：必須事項） 学習・教育目標との関連 (C-1)			
	3. 受入企業での実習（30） (1) 受入企業の実習計画，指導，規則に従い実習を行う。 (2) 実習の目的を理解し，常に意識して積極的に取り組む。			・ 校外実習証明書が発行されていること。（注：必須事項） ・ 機械工学科で学んだ知識が，実際どのように役立つのかを把握するとともに，企業の仕組みと社会人としての心構えを理解することができる。 学習・教育目標との関連 (C-1)			
	4. 実習報告書の作成と提出（-） (1) 本校もしくは企業で指定された様式に従い，実習内容を技術系の文章として報告書にまとめる。 (2) 上記報告書を指定された期日までに提出する。			・ 指定された様式に従い，実習内容を報告書にまとめ，提出することができる。 学習・教育目標との関連 (C-1)			
	5. 実習内容の発表（-） (1) 実習内容を OHP 原稿（枚数指定）にまとめる。 (2) 決められた発表時間を守り，わかりやすくプレゼンテーションする。			・ 実習内容をわかりやすく OHP 原稿にまとめ，プレゼンテーションすることができる。 学習・教育目標との関連 (D-1)			
評価方法	1. 学習項目 1 の報告書を 20%，学習項目 4 の実習報告書を 30%，学習項目 5 の発表を 50% として評価する。 2. 学習項目 2 の必要書類の提出および学習項目 3 の校外実習証明書の提出は必須事項とする。						
履修要件	特になし。						
関連科目	校外実習（4年） ⇄ 機械工学関連の専門科目						
教材	実習企業から指定されたもの。						
備考	・ 別紙，機械工学科 4 年「校外実習」の学習内容と評価方法を参照すること。 ・ 希望した企業は変更不可とする。高専大会等の日程に十分注意し，希望企業を検討すること。 ・ この科目は，本年度内および進級後に単位追認試験が実施できません。						